

平成25年白老町議会広報広聴常任委員会会議録

平成25年11月25日（月曜日）

開 会 午後 4時09分

閉 会 午後 4時37分

○会議に付した事件

1. 議会懇談会のまとめについて
-

○出席委員（12名）

委員 長 氏 家 裕 治 君	副委員長 齋 藤 征 信 君
委員 吉 田 和 子 君	委員 大 淵 紀 夫 君
委員 松 田 謙 吾 君	委員 西 田 ・ 子 君
委員 広 地 紀 彰 君	委員 吉 谷 一 孝 君
委員 山 田 和 子 君	委員 本 間 広 朗 君
委員 前 田 博 之 君	委員 及 川 保 君

○欠席委員（1名）

委員 小 西 秀 延 君

○説明のため出席した者の職氏名（なし）

○職務のため出席した事務局職員

主 査	本 間 弘 樹 君
書 記	小山内 恵 君

◎開会の宣告

○委員長（氏家裕治君） ただいまから広報広聴常任委員会を開会いたします。

（午後 4時09分）

○委員長（氏家裕治君） お疲れのところ大変申しわけございません。今回議会懇談会を開催していただきました。その結果報告を兼ねながら、そして、これらの意見・要望についての取り扱い等々につきまして、今回この常任委員会を開かせていただきます。

まず、議会懇談会のまとめについてでございます。開催結果については資料1でまとめさせていただいておりますので目を通していただければと思います。それから、議会懇談会の総括・反省点について資料2に添付されておりますので、そちらを見ていただければと思います。

まず、11月11日、広報広聴小委員会で主な意見を取りまとめさせていただきました。懇談会の総括・反省点についてでございます。開催日程、時間帯についてはおおむねよかった。まちづくり懇談会等と日程が近かったため、次年度以降こういった部分について配慮する必要があるだろうと。

それからもう1点、開催地区・会場については、社台地区は2名しか参加がなく、次年度以降検討が必要である。町内会長の声のかけ方で参加人数に差が出たような感じがある。それから、議員が町内会を歩くことは大切だと実感した。町内会の反応もおおむねよかった。町内会を限定したことで地域の細やかな課題を聞くことができた。一方で不公平だという苦情もありました。竹浦は全町内会を対象にしたほうがよかったということでございます。懇談会を年2回にするなどやり方を変えることもできるのではないかという意見もありました。町内会を限定するのは一長一短あるが、町連合、町内会に理解してもらって進める必要がある。町内会への案内はもっと早めにしたほうがよい。懇談の進め方として、進行役は各議員の発言機会が公平になるよう配慮する必要がある。議会の総意としての意見と、個人の意見が混同されている。議決済みの案件などは議会の意見、その他は個人の責任で発言する。明確にするよう取り扱いを統一すべきである。町民の発言内容は制限すべきではない。むしろ議員が個人の主張に偏らないよう注意する必要があるのではないか。こういった部分が今回の総括・反省点になっております。

次、意見・要望についての取りまとめが資料3となっております。また、3班で行いました各地域の意見を別紙報告書としてまとめさせていただいております。これをおおむね取りまとめたのがこの資料3になっておりますのでざっと見ていただきたいのですが、議会運営、それから議員活動に対する意見・要望が24件、それから、町政に対する意見・要望が139件、全部合わせますと160件ちょっとあります。これを今後どう取り扱っていくかということですが、ここでちょっと皆様のご意見をお伺いしたいと思います。例えば行財政運営については、今回財政の特別委員会が開かれています。財政の特別委員会などで病院、それから財政健全化についての港、それから、バイオマス等々がこの特別委員会の中で議論されておりますので、そう

いったものを一つの報告として上げさせていただく。これは財政健全化特別委員会の中での報告になるかもしれませんが、そういう取り組みを報告とさせていただきたいと思っております。

また、この議会運営、議員活動に対する意見・要望というところですが、この中に定数の問題、報酬の問題、それから、議会運営の問題と大まかにこういうふうにあります。こういったものについては議会運営の中で一度もんでいただきたいと思います。

それから、町政全般に対する意見・要望、ここ結構数ありますけれども、例えば産業厚生、それから、総務文教の所管する部分に分けていただいて、できれば各常任委員会の中で取り組めるものは取り組んでいただければいかがかなと。それからみ出る部分や、こういった細かい部分は一般質問でやるべきだとか、等々あると思いますが、一度そういった振り分けの中で、あくまでも議会が今回のこの要望に対して取り組んでいるという姿勢を示していければいいかなと私は考えているのです。確かに各常任委員会の方々にはまたお力を借りなければいけない点だと思うのですが、それについて皆さんのご意見をお聞きしながら進めていきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。私の言っていることはわかりますか。

及川委員。

○委員（及川 保君） 委員長のその発案、私非常にいいなと。今まで行政に出されてきた懇談の内容を行政のほうにフィードバックしてそのままという、回答を次回のときにやった記憶もあるのだけれども、最近の懇談の中ではそれはもう全くやっていないです。そういう意味では、常任委員会に振り分ける、これ非常に画期的ないい考えだというふうに思うのだけれども、この内容を見ると非常に偏って、多分、産業厚生の方に非常に比重が大きくなりそうだというのが、今内容を見ていて思ったのです。その部分さえきちっとすれば、非常に私は、これは進めるべきだというふうに思います。

○委員長（氏家裕治君） ありがとうございます。今のご意見、本当にありがたいと思います。今までのやり方を決して変えるわけではないのです。議長のほうには今回の議会懇談会の報告書は上げさせていただきます。議長はそれを行政に対して、多分報告という形をとるのだと思うのです。これは今までと何も変わらないと思います。今までと違うのは、それはそれ、でも議会としてそれをあくまで議会として受けとめて、議会として町民の方々にフィードバックするという、こういう形をとらせていただきたい。今言われたとおりの偏る部分があるかもしれませんが、あるかもしれませんが、そこでできるだけもんでいただけるものはもんでいただいて、それからちょっと外れる部分については皆さんの個々の一般質問等々の中で、今回 12 月はもう間に合わないかもしれないけど、それに関係するような意見もございますでしょう。また直接、実際にこの中の問題でも、どこどこにもう行ってきて、こういう対応を取ったという班もあるのではないのでしょうか。そういったものも含めて、対応したものについては報告を上げていただければ、そういう町民の方々に対してこういう形で議会として対応してきたと、その結果こうだったという答えを、それはできない、いい結果、悪い結果あるかもしれないけれども、それは別にして、そういう結果をお返ししていきたいというふうに考えております。

斎藤委員。

○副委員長（斎藤征信君） 社台に行ってきたグループですけれども、この要望の81、82、83うちの教育問題で出ていたのです。社台から通っている子供たち、白老中に通っている子供たちの中で、外のスピーカーが壊れている、外の時計が壊れている、授業にも差し支えるという、もし何かあったら危険な時にどうするのだという話だとか、それから、社台から白老中に通っているのだけど、早く帰っていいときにスクールバスもなければ路線バスもない。だから仕方がないから図書館へ行って時間つぶして待っているということだとか、それから、ちょうど高校生とぶつかるのだけど、高校生が道いっぱい広がって自転車に乗っている。そうすると社台まで帰る子供たちが自転車で来て、路外に降りて、身を小さくして行くのを待っていると。みじめな思いをしていると。こういうような具体的な話題が出たのです。それは、放っておかないからすぐに解決しようということ、次の日に教育委員会に行きまして、いろいろと話し合ったら、やってくれるということにもなりましたし、それから、前からずっと出ている問題でわかっているのだけど、金がないためにいつも順送りになっていて、今までできないできたのだということで、子供の教育に関することを金がないからできませんという方向はないだろうという、いろんな交渉をやっている中で、直ちに進められるように検討しますとか、それからほかのことは、高校へ行って申し入れをしますとか、そういうような具体的な解決策を聞いてきたのです。だからそういう意味では、自分たちですぐできることは、直ちに対応するということが大事だというふうに思いましたので、報告だけしておきます。

○委員長（氏家裕治君） ありがとうございます。そういった、例えば個々で今回の対応について動かれた意見があれば、きょうこの場ではなくても結構ですので、ぜひ、委員長宛てでよろしいです。報告していただければ、そこは削除と言ったら変ですけれども、その部分から抜いて対応していきたいと思えますし、これからの流れですけれども、どうでしょうか、こういった常任委員会の中で取り組んでもらうということについて、また議会運営委員会などどうですか。多分今回この12月議会終えるのと同時に所管をとらなければいけない。今回からの所管事務調査をとるときに1つの参考にしてもらおうとか、そういう形で取り組んでいただければ、協力していただければ、町民の方々に適切な答えを返せるかなと。

どうですか、大淵委員。

○委員（大淵紀夫君） 1点だけ。今の件については小委員会でお話をしていないのでしょうか。

○委員長（氏家裕治君） 小委員会で話をさせていただいたことを、今皆さんに伺いまして、そう捉えていただければ。

○委員（大淵紀夫君） それであれば結構だと思います。そういう手はずが踏まれているのであれば、今小委員会がこの広報広聴常任委員会をリードするわけですから、そこで合意が勝ち取られているのであれば、私はそういうふうに進めるべきだというふうに思います。

○委員長（氏家裕治君） よろしいでしょうか、皆さん。今回の結果を見ましても、町内会、今まで全町にわたって懇談会をさせていただきました。そして、今回は半分の地域に限ってやらせていただきました。そこでいろいろなクレームもありました。あったけれども、結果的に

は今までで一番人数を集めることができました。これはやっぱり大きな一つの目的を、やり方によってはこういったこともできるのだという一つの結果を残すことができたのではないかと思っています。

ただ、やっぱり反省点として、議会として全町民に対して意見を聞くというやり方ができなかったということは私の反省点でもありますし、これを今後生かしていければと思っておりますので、その時はまた皆様にご協力いただかなければいけない、そう考えておりますけれども、今回のこの意見要望につきましては、そうした形の中で取り組ませていただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（氏家裕治君） ちょっとつけ加えさせていただければ、各常任委員会でこれはもっとやっぱり進めて議論したほうが良いということであれば、その各常任委員会で政策研究会を立ち上げるということもよろしいかと思えますし、またそれはそれとして、意見・要望を受けながら取り組んでいければと思っておりますので、そういったものも頭の片隅に置きながら議論していただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

吉田委員。

○委員（吉田和子君） 今回各町内会長さんのところに持ってまいりました。出られた方から、ご婦人の方ですが、自分の班の分を全部コピーして回すだけだったら、目を通して行ってしまったら忘れてしまうと言うのです。よっぽど出ようと思ってカレンダーに書く人は別として、班で回覧されたらそのまま回って行ってしまおうと。だから気を使って、少し短い日程で会長さんに配られたのは大変いいのですが、私はそういう工夫をしましたという話がありまして、1枚ずつ全世帯分つくるのはどうかということは私もあるのですけれども、そういうふうにして協力してくださった方がいるということをお伝えしておきたいと思えます。終わってからだったのですが、そういうふうにごコピーして回したという話もありましたので、ありがたいことだと思ったものですから、そういうふうにして頑張っている方もいるということを知っていただきたいということと、やっぱり町民のこういう懇談会をしたときに、先ほどから出ていたように、このごろ報告がないということであったのですけれども、その後個人的に来られまして、また懇談会とかで、そういう要望したことに対して答えをちゃんと返してほしいと言われてまして、私も局長とやりとりをして、担当課が行って説明してくれるということをやったのですけれども、それ以上に議会が来て懇談したのだから、議会が来て答えてほしいということもちょっとと言われてまして、一応は担当課のほうできちっと話してもらいましたので、その以後は来ないので大丈夫だと思うのですけれども、金曜日のことですから、その後何も言ってこないで納得していただけたのではないかと思うのですけれども、やっぱり議会が来て懇談を受けた以上、議会が来てちゃんと答えるのが当然だろうという、すごく積極的な方で、町内皆さんにかわって私が意見を言うのですということなものですから、そういった懇談会をやるということは、いろんな町民の思いが後に残るということで、もう少し懇談会のあり方とかその後のやり方、どういうふうな形で持っていくかということを詳しく説明をして、議会がやれることはこ

ここまでだということで、やっていただいたことの返事はできるけれども、それをやる間の経過というのは、議会に予算権も何もないので、そういうことも説明していただくといいのかなと思います。

以上です。

○委員長（氏家裕治君） 斎藤委員。

○副委員長（斎藤征信君） 斎藤です。あわせてご報告しておきますが、私及川議員と回ったときに、町内会長さんがそれは大事なことから、回覧で回すやつに全部会長名で一言ずつ書き入れて、そして渡すと言ってくれたところがありましたし、それから、あるところでは、その場になってから、我々の詰めたところで携帯電話を出して近所の人に電話をかけて、今人が少ないから集まれと集めてくれたとか、そういうような動きというのが今回初めてあったということを報告しておきます。

○委員長（氏家裕治君） いずれにしても今回いろいろな会場の議会懇談会の中で、出前トークのあり方も、そういうやり方もあるのだという新たな、今までもあったのですけれども、そういった新しく認識していただいた方々も何人もいらっしゃったのではないかと思います。ですから、いかに町民に寄り添える議員活動ができるかということをやっぱり私たちが根底において、そういったことがうまく生かされれば、議会懇談会だけではなくてもっといろんなやり方をつくりながらでも、町民の意見を聞きとっていく機会をふやしていければと思っております。今回出されました意見、総括、反省点について、皆さんのほうから何点か今出されましたけれども、それ以外何かございましたら次回の参考にさせていただきたいと思っております。

大淵委員どうぞ。

○委員（大淵紀夫君） 委員長が言いましたけど、竹浦では非常に不評でありました。怒りの電話が私のところにたくさんかかってまいりましたので、ぜひこの次からは考慮していただきたいと思っております。

以上です。

○委員長（氏家裕治君） わかりました。

本間委員。

○委員（本間広朗君） 大淵委員と同じ意見ですけれども、委員長も同じ班なので重々ご存じかと思っております。竹浦の懇談会の中でも、竹浦の町内会長さんがきついお言葉、ここでは具体的には言いませんけれども、きついお言葉が出ていましたので、その辺本来に来年、これを分けることになる、本当に今度字白老も分けることになると思っておりますので、これ本当に年2回やるならまだいいかもしれないけど、その1年逃してしまうと、例えば自分がこう思っていたことがその年に言えないという場合もありますので、2回やるなら2回やる方法という、やらないならやらないなりに地区の方に十分説明をしなければならなかったかなとちょっと僕も賛成した1人として反省していますけれども、その辺ちょっと考慮していただければと思っております。

○委員長（氏家裕治君） そういった意見が上がって初めてやっぱり議会が出ていくことに対して、それを待っている町民の方々がいらっしゃるというのは間違いないのです。ですから、

やり方を変えても何してもやっぱり基本的には町民全員の声を聞くという姿勢だけは、私たちはやっぱり忘れてはいけないのだとそう思っています。本当に大きな反省点として捉えておりますので、次回にそういったことが生かせるようにしっかりまた取り組んでいければと思っております。

前田委員。

○委員（前田博之君） 出席状況、私全部出席していますので直しておいてください。

○委員長（氏家裕治君） 済みません。前田委員、申しわけないです。訂正しておきます。

吉田委員。

○委員（吉田和子君） こういう機会だから、議会懇談会ですから、議員がグループをつくって各箇所を担当するというので日程を決めてやるのですけれども、やっぱり私たち、今回町内会長まで回って何とか一人でも多く出席していただきたいというふうに回ったわけです。そうすると、欠席の議員がいるとやっぱりそこを聞いてくるのです。それだけ回っていてなぜ議員が来ていないのだということになってしまうのです。生身の人間ですからぐあいが悪くなったとか、なるべくこの決めた日程で都合が悪くなれば、その決める前に、もしこの日どうしても何か外せない用事が入った場合は、そのグループで話し合っただけで時間をずらすとか、またそういったことを工夫して、全議員がやっぱり出られるような努力をしないと、町民の方からそういうふうにぐあいが悪くなったとかというのは別問題だと思うのですけれども、用事というのは、なぜ早くに決まって回っているのに、用事が入ったということで、なかなかその納得してくれないというところがちょっとあったものですから、それは厳しい町民の方だとは思いますが、全議員そうだということではないのですけれども、できればなるべく日程をうまく合わせられなければ、そのグループでまた時間のことも考えるとかしながら工夫をして、全議員が出られるような形をなるべくつくっていただけるように努力していただきたいと思います。

○委員長（氏家裕治君） わかりました。

西田委員。

○委員（西田・子君） 今回もそうだったので、10月になったら寒いし、日も短いし、本当は日の長くてまだ暖かい時期にさせていただくとありがたいと。皆さん高齢になってきてちょっとかわいそうかと思うので、ぜひその辺。例えば9月議会後にやるのでしたら、8月くらいから準備しておいて、本当にそのまますぐやれるような体制とか、年に1回になってしまったので、工夫していただければと思います。

○委員長（氏家裕治君） 年1回の議会懇談会、今回の反省点を踏まえて、それがいいか悪いかは別にして、議論させていただければと思います。これはまた小委員会の中でもませていただきますので、新たな意見があれば常任委員会の中で皆さんにお知らせしていきたいと思えます。また、時期的なものも含めて議論させていただきます。

広地委員。

○委員（広地紀彰君） 1点だけ。今吉田委員からあった意見に関連して、出欠の部分というのは配慮すべきだったと思います。私自身も小委員会の1人として思います。今吉田委員が

言われたような配慮ができる余地があるのであれば、やっぱり配慮していきたいと思ひますし、ただ、やっぱり時間帯がある程度決められていることなので限界があると思ひます。ただその場合にも、欠席した議員について理由をちょっと理解していただけるような形で紹介するなどして、出欠の部分では議員も事情があるので、そういった部分に配慮していく形をとっていくということをし送り送っていくということではいかがでしょうか。

○委員長（氏家裕治君） わかりました。

それでは、今後の進め方についてもし理解、ちょっとこういったことかわからないかとかということがあれば、お話しいただければよろしいと思ひますし、私のほうからもまた各常任委員会の委員長に、進め方について細かい部分での説明もさせていただければと思ひておりますので、よろしくご理解のほどお願いいたします。

いずれにしましても、所期の目的は達成されたと私はそう感じております。次回からはまた1人でも多くの町民の方々の声を聞く場をつくっていただけるように努力していければと思ひておりますので、皆さんのご協力を賜りたいと思ひております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

○委員長（氏家裕治君） それでは、以上をもちまして広報広聴常任委員会を終了いたします。

（午後 4時37分）